

第193話 俳諧⑥ 松田未覚のこと その3 中山町 歴史散策

松田未覚が長崎に滞在するようになった頃、長崎の青木家の祖である定章が、俳諧の師匠安原貞室に学んでいます。未覚の師石田未得と安原貞室とは松永貞徳門下生同士ということで、そのような縁もあって、長崎滞在をはじめた未覚にとって、定章とは何らかのかかわりがあったものと考えられます。

長崎に住む頃は、文新田の頭になっていました。

服部文右衛門家所蔵の「追善俳諧」という前書きもない歌仙には、7人の集まりで35句が収められています。

そのうち、定章が6句、未覚が6句で、定章が初句を投じています。

秋ましぬ螢や一寸の光哉

定章

箒持袖の匂ひの恋ばしや

未覚

【用語の説明】

文物…文化の産物

混淆…異なるものが入り混

じること。

歌仙…すぐれた歌人を選び、

その名や歌をあげた

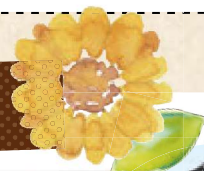
もの。

※引用…中山町史 中巻

「第10章第3節

文芸と美術工芸」から

私たち地域おこし協力隊です！ No.59



みなさんこんにちは！地域おこし協力隊の高橋です！
今回は皆さんにご報告をさせていただきたいことがございます。

先日なんと「デジタル推進委員」に任命されました！！

と、いっても何のことかわからないですよね。デジタル推進委員はデジタル庁が募集しており、「デジタル機器・サービスに不慣れな人などに対し、講習会などでデジタル機器・サービスの利用方法などを教える取り組みのほか、それらの利活用をサポートする取り組みを行う人」のことです。

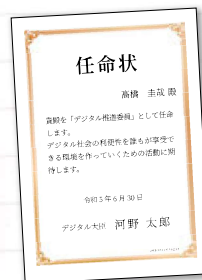
小難しく書いてありますが、結局いままでどおりスマホ教室などを行うことに変わりはありません。これからもデジタルの分野で、少しでもみなさんのためになるような活動を続けていきますので、改めてよろしくお願いします。

ちなみに、マイナポイント申請がまだ終わっていない方は、9月末でキャンペーンが終了してしまうのでお早めに。申請、相談は「スマホよろず相談所」でお待ちしております。



高橋 圭哉

出身地：宮城県岩沼市
趣味：けん玉、アニメ鑑賞



●協力隊への問い合わせ先● 高橋 ☎662-2223 (総務広報課)